

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

(宛先)岡崎市長

令和8年3月13日

団体名 岡崎地方史研究会

代表者 嶋村 博

構成員 148

人(※令和8年4月1日時点の構成員)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

岡崎地方の郷土文化を正しく理解し、地域内の各種歴史文化資料を探求かつ保存管理に万全を期し、次代へ継承する奉仕活動を行う。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
7年6月12日(水)	岡崎市民会館		82名 (47名)	地域研究講座「岡崎城に起きた二つの怪異と伝承」(講師:本多葵美子)
7年11月19日(水)	岡崎市民会館		52名 (13名)	地域研究講座「岡崎成立を巡る諸問題」(講師:湯谷翔悟)

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

岡崎地方の歴史文化の発掘、研究、さらにその成果を広く市民に知らせることができた。成果を知らせる具体的な方法として、1. 地域研究講座の開催。2. 『研究会便り』の会員以外への配布(公共施設での配架)。3. 『研究紀要53号』を西三河地区の図書館へ配布。4. 『東海愛知新聞』月4本の「古写真 de 散歩」連載。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 ④ 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

計画通りの活動はできているが、まだまだ活動が広く理解されていないと思う。